



2017年9月1日 NO.6  
 はあと保育園吉敷  
 〒753-0813  
 山口市吉敷中東1丁目1-2  
 TEL/FAX  
 083-924-3962  
[http://www.seirankai.or.jp/\\_hi](http://www.seirankai.or.jp/_hi)  
 園長 露 英朗

本当に暑かった夏も終わり、朝夕は過ごしやすくなりました。爽やかな秋にふさわしい活動をいろいろ取り入れていきたいと思っております。子ども達の活動も安定してきており、探究心も旺盛になり、ますますその成長が楽しみになっています。

9月1日は、はあと保育園成城（本園）が開園する日です。この保育園は特別養護老人ホームとの合築となっており、高齢者と子どもの共生の場ともなるものです。8月26日には竣工式が行われましたが、世田谷区の皆さんのこのような施設に対する期待の大きさを改めて痛感しました。来年4月に保育園の喜多見分園も開園します。青藍会は保育の分野においても山口と東京で地域の皆さんに安心して利用していただけるよう、日々努力してまいりますので、皆様からも忌憚のないご意見・ご要望をお寄せいただきますよう、お願いします。

## 行事予定

- 6日（水）身体測定
- 14日（木）英語教室（うみ組）
- 16日（土）OYA塾  
「敬老の日のプレゼントをつくらう」
- 20日（水）誕生会
- 25日（月）避難訓練
- 28日（木）英語教室（うみ組）

## 新しい先生です！

よろしくお祈りします！

フリー 内藤 奈那美 先生

以前幼稚園に勤務したことがあります。早く保育園になれて園児の皆さんと仲良しになります。

## お願いとお知らせ



## おたんじょうび おめでとう！

- うみぐみ ひらの しおりちゃん
- ほしぐみ しまおか ゆうりくん  
やました りくくん  
さこ いつかちゃん
- たいようぐみ  
すぎむら からんちゃん  
やごう ゆずほちゃん

## 親子遠足のお知らせ！

親子遠足を下記のとおり計画しています。後日、詳細をお知らせしますので、参加をお願いします。

- ① 日時  
10月12日（木）午前中
- ② 行き先  
維新公園スポーツ文化センター前広場
- ③ 参加の方法  
現地集合・現地解散
- ④ 雨天時の対応  
10月11日（水）午後5時に実施するかどうか決定します。実施しない場合は、保育園で保育を行い、お弁当の日とします。

- うみ組 戸外に出る機会が増えてきます。足に合った靴（サンダル不可）を履いてきてください。
- ほし組 ティッシュ1箱とおしりふきを1つ、持ってきてください。
- たいよう組 ティッシュ(1箱)、ビニール袋(1袋)を持ってきてください。

◎昨年9月の病児保育では、咽頭炎、アデノウィルス感染症、溶連菌感染症などによる利用が多くありました。

今年度は病児保育の利用が多く、8月は夏風邪（アデノウィルス、ヘルパンギーナ、手足口病）の利用、利用の問合せが多くありました。

また、全国的にはRSウィルスの流行も見られます。高熱が続く、咳が治まらないときは、早めに受診されるよう、お勧めします。

季節の変わり目でもあり、体調管理はもとより、清潔保持については十分配慮していただくようお願いいたします。

## う み



8月の様子  
・暑さに負けず、プールに入り元気に過ごしました。  
・納涼祭で踊る「よさこいソーラン」を一生懸命練習し、多くのお年よりから喝采を浴びました。大きな声で「どっこいしょ、どっこいしょ！」と元気に踊りました。  
・給食では、箸を使って上手に食べられるお友達も増えてきました。  
9月のねらい  
・夏の疲れが出やすい時期なので、生活リズムを整え、健康で安定した生活ができるようにする。  
9月の計画  
・保育士や友達と一緒に体を使った遊びを楽しむ。

## ほ し



8月の様子  
・暑い夏、プールでたくさん遊びました。プールが苦手だった子も少しずつ慣れて、一人ひとりのペースに合わせて楽しむことができました。  
・寒天遊びや片栗粉遊びをして、その感触を楽しみました。  
9月のねらい  
・体を動かして遊ぶことを楽しむ。  
・身の回りのことを手伝ってもらいながら、自分でしようとする。  
9月の計画  
・保育者や友達と手をつないで歩き、散歩に出かける。園外の景色を見たり、公園で遊んだりする。  
・自分のことが自分でできるような言葉かけをしていく。

## たいよう



8月の様子  
・食べることに意欲的で自分からスプーンを持ち取り、手づかみ食べも上手になってきました。  
・保育士や友達との関わりの中で、自己主張をする場面が見られるようになってきました。  
9月のねらい  
・夏の疲れや気候の変化に留意し、ゆったりとした生活リズムで安定して過ごせるようにする。  
・個々の発達や興味に合った遊びの中で探索や模倣、体を動かすことを楽しむ。  
9月の計画  
・自然や小動物、乗り物などに興味をもちながら、散歩を楽しむ。  
・保育者とする簡単な歌や手あそびを模倣することを楽しむ。

## 交流 コー ナー

8月の青藍会保育系研修会で澄田講師（山口芸術短期大学）から倉橋惣三（1882-1955）について学びました。その著書である「育ての心」の中に次のような記述があります。われわれ保育に携わるものももとより一人の人間としてもそのような心を持ち続けていかなければならないと思いました。

「自ら育つものを育てようとする心、それが育ての心である。  
世にこんな楽しい心があるか。それは明るい世界である。温かい世界である。育つものと育てるものと、互いの結びつきに於（おい）て相楽しんでいる心である。  
育ての心。そこには何の強要もない。無理もない。育つもののおおきな力を信頼し、敬重して、その発達（みち）に遵（したが）うて発達を遂げしめようとする。  
役目でもなく、義務でもなく、誰の心にも動く真情である。

～中略～

それにしても、育ての心は相手を育てるばかりではない。それによって自分も育てられてゆくのである。

我が子を育てて自ら育つ親、子等の心を育てて自らの心も育つ教育者。  
育ての心は子どものためばかりではない。親と教育者とを育てる心である。」